



愛がすべての土台に

神は、実(まことに、本当に)に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。ヨハネの福音書 3 章 16 節

ハレルヤ 主の御名を賛美します。聖書の中の聖書、分厚い聖書をぎゅっと縮めて一言でいうなら、このヨハネの 3 章 16 節であると、多くの先生から聞かれていることでしょう。この御言葉から、神様から私達人間への思いが、熱く伝わってくるのが分かります。それはひとえに、「愛するがゆえ」です。神様が私達を愛している、これが始まりであり、私達の信仰の土台です。神様が人を愛するがゆえ、罪から救うために御子イエス様を十字架につけられた、そして御子もまた御父を愛するがゆえ、御父と同じ思いをもって人を愛し、十字架の道に従順に従った。父なる神と御子との間にも愛しかないことがわかります。つまり、どこを切っても愛しか出てこないのです。ゆえに、私達の働きのすべてにおいて愛が一番大事な事であることがわかります。

先日、4月29日に開催されたゴールデンプレイヤー Day では、日本の中心地である東京のとりなしに出かけました。私は、皇居を1周歩いてとりなすチームでしたが、地方に住む者にとっては、修学旅行で写真をとるか、テレビで見るくらいで、皇居を歩いて回ることはなく、大げさに言えば人生で初めてのことでした。クリスチャンになって、日本の救いや皇室の救いのためには祈ってきましたが、知識不足な所や実際目の前で見てないこともあり、どこか実感に欠けていたように思えます。しかしそれが、現地に赴き、その目で見て、地を歩くとき、また話を聞くと、目が開

かれ、ぼんやりしていたものがクリアになり、この国に対する危機感と憐みが起こされ、また自分もこの国の一部であり、自分の事として祈ることができました。今回、皇居のとりなしをする中で、80年前の戦争からこの日本の霊的な状態は変わっていないことを、リアルにつきつけられました。まさに暗闇が覆う国です。しかし同時に神様は、この国の民の一人も滅びることを望んではいません。日本の長きにわたる霊的な停滞をみても、ひとり子をささげた神の愛は、変わることがありません。

では私達はのでしょうか。この国のリバイバルを御父と同じ思いで望んでいるのでしょうか。自分の地域だけでなく、他の地域にも関心を払っているのでしょうか。愛とは関心を払うことです。イエス様が私達を心にとめ、この地上に来られたように、またご自身の愛を届けるために足を運ばれたように、私達も自らの足で日本各地に赴くとき、神様の日本への愛を感じられるのではないのでしょうか。既に私達はその愛をうけた者です。ですからこの愛の土台にあって、いよいよ御父とともに働こうではありませんか。今年は戦後 80 年。リバイバルミッションは、真の神様の愛を全国に届ける使命に立って、ますます足を運び続けます。イエスは彼らに言われた。「さあ、近くの別の村里へ行こう。そこにも福音を知らせよう。わたしは、そのために出て来たのだから。」マルコの福音書 1 章 38 節



弓崎美和

リバイバルミッション
 サーバントチーム

レポート ゴールデンプレイヤー-Day!! 2025.April.29

戦後 80年を覚えてまた日本のリバイバルを期待してとりなし祈りをするツアーを開催し、全国各地から勇士が集まりました。皇居を周り歩くコース、自転車で各省庁を巡るコース、バスで各地を巡るコース、大江戸線の地下からまた高い展望台までを巡る電車コース、と様々な視点で今の日本のために、各機関のために、それぞれチームごとに学びと共に楽しく都内を巡り、主の勝利を宣言しました。

そしてお茶の水クリスチャンセンターにて各チームが集合し、食事の時を持ちながらそれぞれのチームの報告と感想を分かち合ってくださいました。どのチームも予期せぬ主の働きやサプライズもあったようでとても楽しい報告の時となりました。

午後はとりなし祈りのセミナーの時間。瀧元望先生より、望先生がとりなし巡られた場所の報告から、戦時中この日本が各国に犯した罪を、流した血を悔い改め、私たちの先祖の負債を認め悔い改め、福音を伝えていくこと、そして次世代のためにこの国の再建を主に願い祈り続けることを学びました。そして引き続き滝元順先生より、今の日本がもつ「2025年問題」「少子高齢社会」「経済と霊的戦い」などの視点より、今の日本の政治のために祈る必要があることを強く思わせる学びの時がもたれました。また多くの子どもたちもこの祈りの時に集まってくださり、楽しい交わりの時がもたれていました。



参加者の声

◆バスプラン 伊藤愛鈴さん

教会の姉妹と2人でバスツアーに参加する事ができました。祈りと賛美を捧げながらバスが出発し、行き交う多くの車や街の人々を見ながら、滅びゆく魂の救いと街の祝福を祈りました。靖国神社と両国東京慰霊堂では途中下車し、それぞれが導かれところで祈るという時間が設けられましたので、ねり歩きながらねじ曲がった木々に対して、「主をほめたたえよ」と宣言、解放と回復を祈りました。執り成しに来た時だけの祈りではなく、これからも継続して東京を祈り続けていきたいと思えます。



◆自転車プラン 林桃子さん

前日は大雨でしたが、当日は晴天となり10名が集まりました。国会議事堂から議員会館、首相官邸、各省庁官庁を効率よく周り、イエス様の愛と憐れみが日本の上に降り注がれるよう、祈りが導かれました。他団体によるデモや集会が予定されていましたが、全てを祈り終え、信号待ちをしていた時に、交通規制が始まりました。予期せぬハプニングが全くなかったわけではありませんが、天候だけでなく全てのタイミングを主が守り導いてくださったことを知り、主の御名を褒め称えました。皇居に戻り、復活された主ご自身が、混沌とした世界のただ中で生きて働いてくださっている事を確信し、癒しと回復を祈る事ができました。最後は大手町を経由してお茶の水まで自転車で移動し、最後まで導いてくださった主に感謝を捧げました。



◆ウォーキングプラン 谷合瑞輝さん

説明とお祈りで忙しく周りましたが、途中英国大使館、毎日新聞社、警視庁、日本を代表する企業群などを横目に見ながら、半蔵門、東御苑、二重橋前の3つの要所で祈ることができました。皇居は初めての方もいましたが、日本の政治、経済、文化、そして霊的支配の中心として改めて皇居の重要性を認識し合い、他の箇所と連動しつつ意義深い充実した祈りをささげることができました。とりなす者は必ず祈りに来るべき場所です。



◆電車プラン 樋口章代牧師

地下鉄大江戸線を一周する電車コースの祈りに参加しました。永田町、新宿、都庁、汐留、本郷を電車で走る中で、国の政治経済が正しく導かれ、また歓楽街の犯罪や誘惑、偶像礼拝の惑わしから人々が守られるように祈りました。地下鉄で最も低い位置の六本木構内で祈り、また汐留では46階の展望台に上がり東京を見渡しなが祈りましたが、主がどんなにそこに生きる人々を愛し、救われることを願っておられるか、強い迫りを受けました。最後まで導いてくださった主に感謝を捧げました。



2025 Go to Mission

**2025年も、あなたの町、あなたの教会に伺います！
是非あなたの町で、教会で開催ください。**

イエスキリストを知らない方々に
福音を届けに行きます！

今年も福音の旗を掲げ全国を駆け巡ります！是非お祈りください。開催ください！

九州地区

福岡、熊本、宮崎で4月4日～13日の10日間、Go to ミッションが開催されました。

4月13日、愛宕キリスト教会は、サクソ奏者の関真哉兄、講師に平岡修治先生、音響担当の岩井寛兄にお越しいただいて、何年振りかで特伝を開くことができました。コロナ禍以来、日曜礼拝の出席者は十数名程で寂しい思いをしていたのですが、この日の出席者は36名、半分は未信者、さらにその半数近くは、教会はまるで初めてという方々でした。会堂には浮き浮きと踊り出したくなるような軽快な、あるいは心に染み入るような美しいサクソの音が響きわたり、平岡先生の楽しいお話しを通してキリストの福音が明確に伝えられ、信仰へと招かれました。愛宕教会は、高齢化の進行と共に会員数が減少し、病を抱える会員が何人もいて、働き手不足に悩まされる中、主に望みを置き、主に期待して勇気をもって前進していこうとしている最中です。今回の特伝では、未信者の方々が大変喜び楽しんで下さったばかりか、信者の私達自身も大きな励ましをいただきました。これからも自分達の弱小さに心折れることなく、心新たに益々喜んで福音伝道に励んでいきたいです。このような機会を下さし、主の御使となってこの小さな田舎の教会に大きな恵みを運んできて下さったことを心から感謝申し上げます。

愛宕キリスト教会牧師 片伯部千鶴子



6月開催教会

関西地区 講師／平岡修治 ●音楽ゲスト／チェ・ヨンドゥ

- 6月 8日 [日] 10:30 活けるキリスト—麦西宮教会 (兵庫)
- 6月 8日 [日] 16:00 大阪みぎわチャペル (大阪)
- 6月10日 [火] 10:00 橋本バプテスト教会 (和歌山)
- 6月11日 [水] 19:30 南大阪福音教会 (大阪)
- 6月13日 [木] 14:00 奈良西ライフチャーチ (奈良)
- 6月13日 [金] 19:00 出戸バイブルチャーチ (大阪)
- 6月14日 [土] 11:00 南千里バプテスト教会 (大阪)
- 6月15日 [日] 9:00/11:00/14:30 八尾福音教会 (大阪)

東北地区 講師／平岡修治・上條実 ●音楽ゲスト／石塚誠孝

- 6月25日 [水] 14:00 恵泉キリスト教会仙南チャペル (宮城)
 - 6月26日 [木] 14:00 気仙沼第一聖書バプテスト教会 (宮城)
 - 6月27日 [金] 14:00 大船渡市民交流館 (岩手)
 - 6月27日 [金] 19:00 盛岡聖泉キリスト教会 (岩手)
 - 6月28日 [土] 10:30 いわて福音教会みたけチャペル (岩手)
 - 6月29日 [日] 11:00 秋田カルバリー祈りの家 (秋田)
 - 6月29日 [日] 18:00 平川めぐみ教会 (青森)
- ※6月30日～7月2日は調整中です

7月開催教会

北海道地区 講師／平岡修治 ●音楽ゲスト／Asiah

- 7月 4日 [金] 調整中
- 7月 5日 [土] 10:30 ホープ札幌
- 7月 6日 [日] 10:30 カナンプレイズチャーチ
- 7月 6日 [日] PM 調整中

- 7月 8日 [火] 19:00 十勝めぐみ教会
- 7月 9日 [水] 調整中
- 7月10日 [木] 調整中
- 7月11日 [金] 調整中
- 7月12日 [土] 時間調整中 イエスキリストよるこびの教会
- 7月13日 [日] 10:30 札幌ペンテコステ教会
- 7月13日 [日] 時間調整中 小樽ベテルキリスト教会

次世代リバイバルキャンプin Korea

開催日程◎2025年7月28日(月)～31日(木)

開催会場◎天馬山祈禱院(韓国京畿道九里市)

募集対象者◎小学生、中学生、高校生、大学生、青年(おおよそ10代～20代)

■日本からの参加ツアー※日程が変更になっています

ツアー日程／2025年7月28日(月)～7月31日(木)

現地参加費用／200,000W(日本円で約2万円)※現地宿泊・食事代・バス移動

申込〆切6月16日(月)

※期間が長いという声にお応えして参加しやすいようにキャンプのみのツアーに変更しました。

※参加希望の方は飛行機を確保する前にまず事務局へ
※仁川空港解散後、個人手配で延長することも可能です。

| | 7/28(月) | 7/29(火)～30(水) | 7/31(木) |
|--------|--|-----------------------------|--|
| スケジュール | 日本各地空港 ↓ 韓国仁川空港13時集合 チャーターバス ↓ 天馬山祈禱院へ キャンプスタート 祈禱院宿泊 | キャンプ参加 (終日) 祈禱院宿泊 | キャンプ参加 ↓ チャーターバス ↓ 仁川空港13時到着 (解散) ↓ 日本各地へ |



宿泊◎天馬山祈禱院(7/28-30) 109-225 Cheonmasan-ro, Namyangju-si, Gyeonggi-do
※ツアーには日本各地から韓国仁川空港への往復の移動費、手配は含まれていません。
※18歳未満のお一人での飛行機の搭乗は、親の同意書の提出など規制があることがあります。
※保護者や引率者の同行も可能です。(但し、キャンプ期間中は同室にはなりません)

<推奨フライト> ※航空券手配及び航空券代は各自負担

名古屋◎往路7月28日(月) 名古屋10:40am - 仁川12:40 復路7月31日(木) 仁川16:20 - 名古屋18:20※往復ジンエアー利用

大阪◎往路7月28日(月) 関空9:50am - 仁川11:50 復路7月31日(木) 仁川17:00 - 関空18:50※往復チェジュ航空利用

東京◎往路7月28日(月) 成田9:55am - 仁川12:25 復路7月31日(木) 仁川16:05 - 成田18:30※往路AirJapan 復路チェジュ航空利用

※参加申込後各自で飛行機を確保ください、また搭乗便を事務局までお知らせください。



天馬山祈禱院 HP

モンゴル・ゴビ砂漠リバイバルミッション 2025.8.19-22

昨年に引き続き、モンゴルでの集会を開催します。今回は広大なゴビ砂漠での集会です。

日本からの参加のために、今回もツアーを計画しています。限定20名です、今すぐお申し込みを！

モンゴルゴビ砂漠リバイバルミッション参加ツアー

日程/8月18日(月)～8月23日(土)

訪問先/ゴビ砂漠・まことの喜び教会(South Gobi Dalanzadgad)

現地参加費用/約4万円を予定(現地移動費、ウランバートルでの宿泊代、現地食事代など)

※日本～ウランバートルへの渡航費(航空券手配)は含まれません。

募集人数/20名

| | |
|---------|--|
| 8/18(月) | 日本各地～モンゴルウランバートル(航空券各自手配) 宿泊◎フラワーホテル(ウランバートル市内) |
| 8/19(火) | モンゴルウランバートル～ゴビ砂漠へ移動(約4時間) 宿泊◎ゴビ砂漠教会員のお宅にてホームステイ |
| 8/20(水) | モンゴルゴビ砂漠リバイバルミッション(終日) |
| 8/22(金) | 宿泊◎ゴビ砂漠教会員のお宅にてホームステイ |
| 8/23(土) | ゴビ砂漠～ウランバートルへ移動(約4時間) モンゴルウランバートル～日本各地(航空券各自手配) |

<推奨フライト・名古屋発着の場合> ※航空券手配及び航空券代は各自負担

往路◎8/18(月) 名古屋9:15am - (モンゴル航空6718) - 韓国仁川空港11:20am

韓国仁川空港14:20 - (モンゴル航空302) - モンゴル・ウランバートル17:00

復路◎8/23(土) ウランバートル13:00 - (モンゴル航空5301) - 韓国仁川空港17:10

韓国仁川空港19:00 - (モンゴル航空6717) - 名古屋21:00

※復路は、ウランバートルを午後出発する便で手配ください。

※夏休みの期間中のため、早めに航空券を手配ください。

一次募集〆切6月16日



Pray for . . .

ある人のために、ある場所のために、教会のためになど「とりなし祈る」ということをよく聞くけど、ちゃんと説明出来ないという方も実は多いのかもしれない。SIRの瀧元望氏に話を今回も伺いました。

エッセンシャルな働き、「とりなし」

4月29日、東京で「昭和100年」「戦後80年」を契機に、とりなし祈る時がもたれました。リバイバルミッションの歩みにおいて、「祈り」と「とりなし」は欠かすことの出来ないものです。

これまでの歩みの中で多くの祈りが積み重ねられ、色々なとりなしが導かれましたが、それはリバイバルの本質に関わるものでした。

時に、「祈り」と「とりなし」が同じものとして理解されますが、正しくいえば、「祈り」には、主に向かって「リバイバルを願う」など、私たちの「意志」が関わっていますが、「とりなし」には、私たちの「存在理由」が関わっています。

この国に遣わされている私たちは、人々の救いと主が愛し造られた被造物全体に救いと贖いが流れ現されていくことを「願い」「とりなす」ものとされています。先に救いを受けた私たちに与えられた使命がそこにあるのです。

イエス様の十字架の贖いは、私たちと神との間にあって、人類の罪の代価を支払うという仲介の出来事ですが、イエス様が神から遣わされた神のひとり子であったという「存在」にあって成立しました。

イエスは永遠に存在されるので、変わることがない祭司職を持っておられます。

したがって、ご自分によって神に近づく人々を完全に救うことがおできになります。いつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておられるからです。

ヘブル人への手紙 7章24～25節

イエス様の全人類に対する「救い」は、その「存在理由」にあって与えられ続ける「とりなし」によって成立するものであり、その「救い」を持ち運ぶ福音宣教の働きは、イエス様の「とりなし」の働きの一端を担うものといえます。

イエス様の十字架にあって罪赦され、神の子とされた私たちは、イエス様と同じように「とりなす」者と

されました。私たち自身が他の人を救う事はできませんが、イエス様を紹介し、「救い」を仲介する事ができます。それが伝道の働きです。

コロナ禍にあって、「エッセンシャル・ワーカー」という言葉が用いられました。必要不可欠な仕事に関わっておられる医療関係者などのことを指します。宣教団体であるリバイバルミッションにあって「とりなし」の働きは、なくてはならない必要不可欠なものです。

「とりなし」の働きこそ、福音宣教にあって必要不可欠なものであり、私たちクリスチャンこそ真のエッセンシャル・ワーカーだと信じます。

時に、「とりなし」に対して、「とりなしたら何人救われた?」「何が起きた?」というような結果や生産性を求める声がありますが、結果を生み出すために「とりなし」が行われたとしたら、その時点ですでに、イエス様の姿から離れたこの世が持つ価値観である「効率主義」にまみれたものとなってしまいます。

イエス様はその命を「与える」ために、この世にられました。滅びに向かう人々にとって、十字架の出来事は、もっとも無駄な愚かなものかもしれません。しかし、それを信じる私たちにとっては、「神の力」です。複雑で、効率が問われるこの世にあって、愚直に、十字架の福音を宣べ伝え続けることこそ「神の力」です。

この曲がった時代において主から召された「エッセンシャル・ワーカー」として、この国のため、町のため、あらゆる出来事のため、全ての人が救われるように、願い祈り、とりなし続ける者とされましょう。

瀧元望

SIR ネットワーク代表



霊的戦い・専門課程 第13期

第13期Vol.10 ハイブリッド開催

7月21日[月・祝]—22日[火]

講師／滝元順、末宗宣行、鈴木陽介、ほか

受講料／8,800円[1回10セッション]

※配信は13期終了2025年9月末まで視聴可能

※会場での受講者も配信を視聴することができます。

※8月4日配信開始予定です。

第13期 vol.9 は配信のみです。

※7月7日配信開始予定です。

霊的戦いセミナー@韓国

5月12日～13日に韓国春川とソウルにて

霊的戦いセミナーが開催されました。

主をひたすら求め、リバイバルを祈り

続ける方々が集われ、熱心に受講され

ておられました。次回は11月の予定です。



戦略的 とりなしと 調査専門課程 6月

ハイブリッド開催

6月7日[土]

10:00—16:15

講師／瀧元望ほか

受講料／5,500円

(3セッション)

スケジュール

セッション●10:00~11:30

昼食

(会場参加者のみ別途600円必要)

セッション●13:00~14:30

セッション●14:45~16:15

参加方法

①会場でのご参加

②当日、Zoomでのご参加

(顔出しなし、視聴のみの参加も可能)

③後日ビデオ配信視聴での参加

(6月16日配信開始予定)

会場／リバイバルミッションセンター

6月は、新教皇が即位したことから、もう一度、日本におけるカトリックの宣教に関して、それを担ったイエズス会に焦点を当てて学びます。3月に続いて「天皇と占領新憲法と新皇室典範」を谷合瑞輝さんから、丸山義宣さんから「発達障害」などに焦点を当てて、その全般を発表して頂きます。ぜひ、ご参加ください。



戦後80年とりなしプラン

関西プレイヤーDay

2025年9/15月・祝 9:30~16:00



午前●ウォーキング・自転車・電車・バスとりなしプラン

※午前中は、大阪の各地を巡って大阪の祝福と戦争関係の地をとりなし祈ります。

午後●賛美&祈り

午後は皆で集まり、日本のリバイバルを祈り求めましょう。

※詳細は、次号にて発表します！ まずはスケジュールを確保ください!!



wakamono
worship
wave



～6月すりだぶ～

#賜物を活かす

会場：リバイバルミッションセンター

みなさん今流行中の "MBTI" ってご存知ですか？ Myers-Briggs Type Indicator の略称で、心理学理論に基づいた性格検査です。その MBTI に関する企画を計画中！ それぞれに与えられた特性や賜物を主のために用いていきましょう！

6/21 土 17:00

YouTube
配信あり

すりだぶ YouTube や Instagram もぜひフォローお願いします！ →



過去の集会のアーカイブもリバイバルミッション YouTube チャンネルよりご覧いただけます。



Zoom de フェロシップ

どの Zoom も参加は無料です。事前にお申し込みいただくとメールにて ID パスコードをお知らせいたします。毎回でなくても参加出来ます！

ワカモノトークルーム

6月2日 [月] 20:00～

●MC / 杉浦美紀、瀧元栄主、田中咲
●アドバイザー / 平岡新人

韓国語

6月3日 [火] 20:00～

●講師 / チェ・ヨンドウ

神学校OB

6月24日 [火] 20:00～

●司会進行 / 田中進、平岡新人

ブッククラブ

6月26日 [木] 20:00～

●司会進行 / 平岡新人

Zoom de 祈禱会

6月16日 [月] 20:00～

全国の皆さんと共に直近開催の Goto ミッションはじめ、参加者、参加教会の祈りの課題を出し合っていただき、共に祈る時間です。皆さんのご参加をお待ちしています！

Pray
for
Revival

6/19

YouTube
配信

6月の Pray for Revival は 6月に関西地区の Goto ミッションはじめ Zoom de フェロシップでも奉仕をしてくださっているチェ先生です。

木 10:00～

メッセージ・賛美 / チェ・ヨンドウ

教会広場募集！！

皆さまの教会の紹介、祈りの課題などをあげて頂き、教会の賛美（ゴスペルクワイヤー、聖歌隊、賛美チーム、バンド、ソコ等）の1曲で10分以内でご紹介させていただきます。教会で動画を撮ってリバイバルミッションまでお送り下さい。皆さまの素晴らしい賛美をお待ちしています！
※出演日程については事務局で調整させていただきます。参加には牧師先生の承認が必須となります。



祈りの課題がある方は

下記のメールアドレスまでお送りください。集会の祈りの中で、共有して祈りますのでなるべく短く簡潔にお書きください。匿名イニシャルの投稿でも結構です。
revivalmission.pray@gmail.com

主を賛美いたします。リバイバルミッションのために、いつも祈り、献金をもってご支援くださっていることを心から感謝いたします。3月の会計報告ですが、今月の3月だけでマイナス80万ほどとなっています。今までの累積のマイナスもあり、手元の現金も底をつき、支払を待っていただかなければならなかったりとかかなり逼迫してる状態です。日常のお米の高騰はじめ物価が高騰し続けている昨今、多くの方々は買い控えなどと景気もなかなか戻る気配が見えません。その中ですが、これから夏に向かって多くの伝道集会所も計画されています。是非祈りに覚えてくださるとともに、献金を持って一人のたましいが救われるために、そしてリバイバルが前進するように支えてくださいますようお願い申し上げます。

●献金送付先.....
三菱UFJ銀行 / 名古屋営業部 普通 2569313
ゆうちょ銀行 / 振替口座 00860-0-33814
クレジットカードによる献金 <http://j-revival.com/rm/card/>



●会計報告2025年3月

| 収入 | | 支出 | |
|---------------|-----------|-------------|-----------|
| 一般献金 | 1,469,573 | 事務運営管理費 | 932,888 |
| 集会献金・参加費 | 3,133 | 一般旅費交通費 | 14,780 |
| 国内宣教指定・集会献金 | 772,740 | 通信費 | 180,899 |
| 世界宣教指定・集会献金 | 3,000 | 印刷費 | 161,953 |
| 霊的戦い支援・献金・参加費 | 77,530 | 国内宣教諸経費 | 887,334 |
| 受取利息 | 26 | 霊的戦いセミナー諸経費 | 145,631 |
| | | 集会諸経費 | 452,516 |
| | | 世界宣教諸経費 | 0 |
| | | 銀行借入返済 | 350,607 |
| 収入合計 | 2,326,002 | 支出合計 | 3,126,608 |
| | | 1ヶ月間差額(3月) | -800,606 |

クレジットカードでも献金出来ます。



フリーダイヤル ☎0120-291-372
〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
TEL.0536-23-6712 FAX.0536-23-6220
✉office@j-revival.com
ホームページ <http://www.j-revival.com>
※次回ニュースPlus7月号 (vol.12) は6月22日(日)発行予定です。



リバイバルミッション情報
祈りのLINE登録してお祈りください！



リバイバルミッションのホットな情報と祈りのリクエスト、集会の様子などを配信します！
◎友達登録方法・・・「友達追加」からQRコードリーダーにてQRコードを読み込んで登録



それぞれフォロー、登録して下さい。
Facebook, Instagram, X, YouTubeのアカウントがあります。